扇小だより
考える子　思いやりのある子　強い子
令和６年度　第２０号
開校50年目　７月３０日 児童数753名
入間市立扇小学校

全国学力学習状況調査結果概要より

学校長　村越　新

令和６年度全国学力学習状況調査の結果が学校に届きました。全国的な結果の概要についても、文部科学省・国立教育政策研究所がまとめました。

示された調査結果のポイントの一部を紹介します。

〇主体的・対話的で深い学びに取り組んだと考える児童生徒ほど、各教科の正答率が高く、自分で学び方を考え工夫している。

〇主体的・対話的で深い学びが、児童生徒の挑戦心・自己有用感・幸福感等に影響を与えている可能性がある。

〇個別最適な学び・協働的な学びの両方に取り組んだと考えている児童生徒は、正答率が高い傾向が見られるとともに、「授業の内容はよく分かる」「学校に行くのは楽しい」「自分にはよいところがあると思う」と回答している傾向が見られる。

〇課題の解決に向けて自分から取り組んだと考える児童生徒ほど、正答率が高い傾向が見られる。

〇主体的・対話的で深い学びに取り組んだと考える児童生徒ほど、ICT 機器活用の効力感が高い。

〇主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善や総合的な学習の時間、学級活動の取組は、児童生徒の「地域や社会をよくするために何かしてみたい」という考えの形成に影響を与えている可能性がある。

〇普段テレビゲームをする時間が１日当たり３時間以上であるグループは、１日当たり３時間未満のグループより勉強時間が短く、毎日同じくらいの時刻に寝ていないという傾向が見られる。

〇普段１日当たり３時間以上 SNS や動画視聴などをすると回答した児童生徒の過ごし方についても、テレビゲームと同様の傾向が見られた。

＊主体的・対話的・深い学びに関する調査結果

本校児童が「当てはまる」と回答した割合　（　）内は全国平均

○課題解決に向けて、自分から取り組んだ	**２７．８％**	(29.5)
○発表する機会では、上手く伝わるように工夫した	**１９．０％**	(25.9)
○各教科で学んだことを生かしながら、考えをまとめた	**３０．２％**	(29.7)

＊個別最適な学び・協働的な学びに関する調査結果

本校児童が「当てはまる」と回答した割合　（　）内は全国平均

○授業は、自分にあった学習時間になっていた	**３６．５％**	(34.4)
○授業や学校生活で、互いに協力しながら課題解決した	**５７．１％**	(48.8)

＊テレビゲームやＳＮＳ・動画、３時間以上　調査結果

本校児童の割合　（　）内は全国平均

○普段、１日当たり３時間以上ゲームをしている	**３８．９％**	(30.3)
○普段、１日当たり３時間以上ＳＮＳ・動画視聴している	**２３．０％**	(19.7)

★本校ＨＰ「学力調査結果」にも結果の一部を載せています

全国学力・学習状況調査には、３つの目的があります。

・義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
・学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
・そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

結果につきましては、職員で共有・分析をし、二学期以降の授業改善に生かしていきたいと考えています。継続的な検証改善サイクルをさらに確立していきます。